

第五次羽村市長長期総合計画後期基本計画に定める市の将来像

「ひとが輝き みんなでつくる  
安心と活力のまち はむら」を目指して

平成30年度は「第五次羽村市長  
期総合計画後期基本計画」の2年  
目にあたり、市の将来像の実現に  
向けた施策を加速していく重要な  
年です。

羽村市が魅力あるまちとして持  
続的に発展していくため、また、  
市政に課せられた使命を果たして  
いくため、長期総合計画後期基本  
計画に掲げた事業については、優  
先的に予算化を図りました。

市の財政状況は、市税をはじめ  
とする経常的に収入される一般財  
源が減少していることに伴い、基  
金の取崩し額が増え、基金残高が  
大幅に減少するなど、非常に厳し  
い状況にあります。

このため、行財政改革を強力に  
推進し、財政基盤の強化に取り組  
んでまいります。

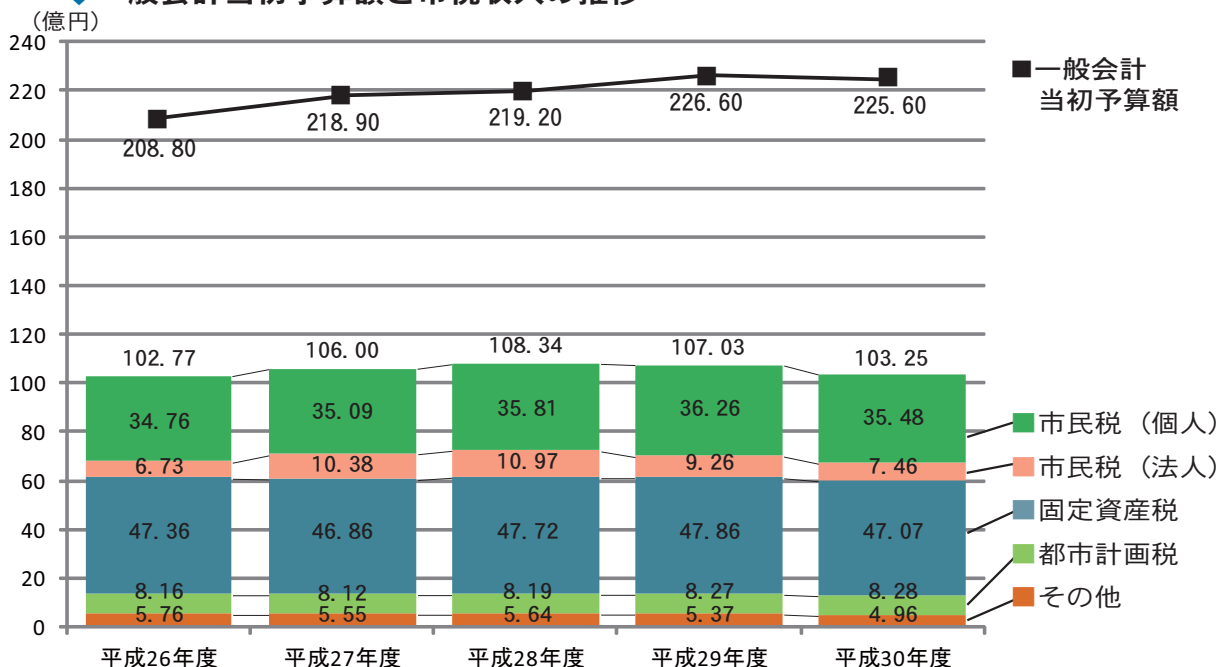
◆平成 30 年度予算～各会計の内訳と前年度との比較～

(単位：千円)

区 分	平成 30 年度 (当初)	平成 29 年度 (当初)	増減額	増減率	
一 般 会 計	22,560,000	22,660,000	▲ 100,000	▲ 0.4%	
特 別 会 計	国民健康保険事業	5,954,900	7,265,800	▲ 1,310,900	▲ 18.0%
	後期高齢者医療	1,201,700	1,087,800	113,900	10.5%
	介護保険事業	3,444,100	3,551,000	▲ 106,900	▲ 3.0%
	羽村駅西口土地区画 整理事業	1,188,400	1,001,700	186,700	18.6%
	下水道事業	1,306,100	1,206,800	99,300	8.2%
	特別会計合計	13,095,200	14,113,100	▲ 1,017,900	▲ 7.2%
水 道 事 業 会 計	1,575,331	1,548,876	26,455	1.7%	
合 計	37,230,531	38,321,976	▲ 1,091,445	▲ 2.8%	

※水道事業会計は「収益的支出」と「資本的支出」を合計し、予算額としています。

◆一般会計当初予算額と市税収入の推移



一般会計

225億6000万円 (前年度比0.4%減)

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

◆財源補完の状況

年度間の財源調整や後期基本計画に掲げる事業を着実に進めていくために必要な財源として、財政調整基金からの繰入金や市債の活用を図ります。

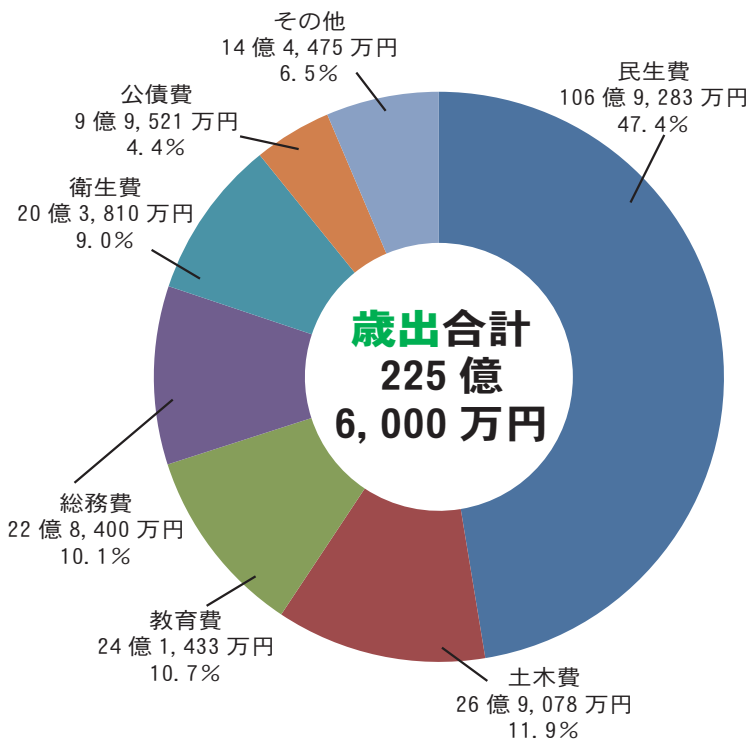
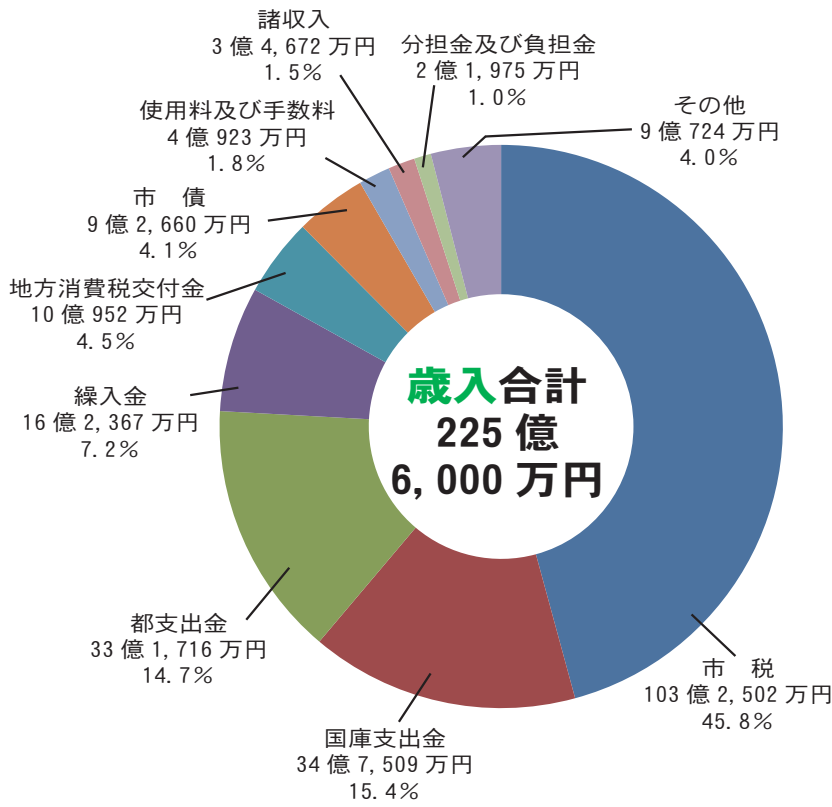
(単位：千円)

	平成 30 年度 (当初)	平成 29 年度 (当初)	増減額	増減率
財政調整基金 (繰入額)	578,162	852,056	▲ 273,894	▲ 32.1%
市債 (借入額)	926,600	462,000	464,600	100.6%

## 歳入の内訳

歳入の根幹となる市税収入は前年度と比較し3.5%減の103億2,502万円、昨年に引き続き減少となりました。市民税個人分は、所得の改善がみられるものの、所得控除や税額控除の増加による税収減を見込んだことから、前年度と比較し2.2%減の内法人数の推移や大手企業分の税収の

見直しなどから、前年度と比較し19.4%減の7億4,629万円を計上しました。固定資産税は、評価替えに伴う在来分家屋の減価の影響などを見込み、全体では前年度と比較し1.6%減の47億7,122万円としました。そのほか、国・都補助金などの財源の確保を積極的に図りました。



## 歳出の内訳

民生費では、障害福祉サービス費、後期高齢者医療会計繰出金、私立保育園保育委託料などを計上しました。土木費では、羽村駅自由通路拡幅施工委託料、市道第3028号線自転車専用通行帯設置等工事費、羽村駅西口土地区画整理事業会計繰出金などを計上しました。

教育費では、羽村第一中学校防音機能復旧(機器取替)工事、施設型給付費(教育)などを計上しました。総務費では、庁内LAN用機器等使用料や平成30年住宅・土地統計調査事務費などを計上しました。

### 行財政改革の取組み

平成30年度予算編成において「第六次羽村市行財政改革基本計画」に基づき、受益者負担の適正化やクラウドファンディングの実施など歳入の確保に努めるとともに、歳出では物件費や補助費などの消費的経費について、内容を精査して経常的な経費の縮減に努めました。また、予算の執行にあたって、さらなる歳入の確保や経常的経費の抑制を図っていきます。